

献血後のお知らせ(検査結果)

献血いただく前に、検査結果通知のご希望の有無をお伺いしています。(結果は献血後1ヶ月以内に親展にてお届けします)

(1) 通知している検査項目

- 血液型検査、生化学検査
- 血球計数検査

(2) 検査で異常を認めた場合に通知する項目

- B型、C型肝炎ウイルス検査
- 梅毒検査
- HTLV-1検査
- T. cruzi* (シャーガス病) 検査 (シャーガス病の安全対策の対象者のみ)

※エイズウイルス (HIV) 検査については、通知していません。

より安全な輸血医療のために

検査目的の献血をお断りする理由

エイズウイルスや肝炎ウイルスの感染初期には、強い感染力を持つにもかかわらず、最も鋭敏な検査方法を用いても検出できない期間があります。

エイズウイルスなどの感染に不安があり、献血時の検査により確認しようとすると、患者さんにウイルスを感染させてしまうことがあります。

エイズや肝炎は主に性交渉により若い世代に感染が拡がっています

エイズウイルス (HIV) や肝炎ウイルス (HBV, HCV) を保有している人との性交渉や、注射器を共用し麻薬などを使用した場合に、エイズや肝炎のウイルスに感染する恐れがあります。

下記はいずれもこれらの危険性が高い行為です。過去6ヶ月以内に該当する場合は献血いただけません。

- (a) 不特定の異性または新たな異性との性的接触
- (b) 男性どうしの性的接触
- (c) 麻薬、覚せい剤を使用した
- (d) (a) ~ (c) 該当者との性的接触

エイズ検査施設

エイズ検査をご希望の方は最寄りの保健所にお問合せください。

保健所ではエイズ検査を匿名、無料で受けることができます。

「HIV検査・相談マップ」(<http://www.hivkensa.com>)

では、保健所などの検査機関の情報が掲載されています。



何らかの病気や感染症にかかっているとわかった場合はご連絡ください

献血後、健康診断や医療機関などでB型・C型肝炎の疑いがあると診断された場合等には、

血液センターまでご連絡ください。(又は主治医に献血した旨をお伝えください)

ご協力ください

- ・輸血を受けられた患者さんについて感染症などの報告があった場合、その原因調査を行うため、また、献血者ご自身の健康管理のため、検査用血液の採血を再度お願いする場合があります。
- ・献血された方にコールバック用紙「今一度、ご確認をお願いします!」という印刷物をお渡しします。これをよくお読みになって、思い当たる場合は、必ず献血当日中に血液センターへお電話ください。



お願ひ!



輸血を受けた患者さんに深刻な状況をもたらす場合がありますので
「責任ある献血」をお願いします。

以下に該当する方は献血をご遠慮ください

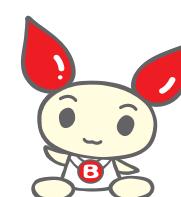
- ① 3日以内に出血を伴う歯科治療（抜歯、歯石除去等）を受けた方
- ② 4週間以内に海外から帰国（入国）した方
- ③ 1ヶ月以内にピアスの穴をあけた方
- ④ エイズ検査が目的の方
- ⑤ 6ヶ月以内に下記に該当する方
 - (a) 不特定の異性または新たな異性と性的接觸があった
 - (b) 男性どうしの性的接觸があった
 - (c) 麻薬、覚せい剤を使用した
 - (d) 上記(a) ~ (c) に該当する人と性的接觸をもった
- ⑥ 今までに下記に該当する方
 - (a) 輸血（自己血を除く）や臓器の移植を受けた
 - (b) ヒト由来プラセンタ注射薬を使用した
 - (c) 梅毒、C型肝炎、マラリア、シャーガス病にかかった
- ⑦ 下記のいずれかに該当し、中南米諸国（メキシコを含むがカリブ海諸国は除く）を離れてから6ヶ月以上経過していない方（6ヶ月以上経過している方は職員へお申し出ください。）
 - (a) 中南米諸国で生まれた、または育った
 - (b) 母親または母方の祖母が中南米諸国で生まれた、または育った
 - (c) 中南米諸国に連続して4週間以上滞在、または居住したことがある

以下に該当する方は職員・検診医にお申し出ください

- ① 3日以内に薬を服用、使用した方
- ② 1年内に予防接種を受けた方
- ③ 海外滞在歴について
 - (a) 3年内に外国（ヨーロッパ、米国、カナダを除く）に滞在した方
 - (b) 昭和55年以降、ヨーロッパ、サウジアラビアに通算1ヶ月以上滞在した方



上記に該当されない方でも、検診医の判断で
献血をお断りすることがあります。



献血前にお読みください

献血前に

- お名前、生年月日、住所、電話番号等は正確にお答えください。
- ご本人の確認のため、運転免許証などの提示をお願いすることがあります。
- 問診項目には正確にお答えください。事実と異なる回答をされた場合、輸血を受けた患者さんに深刻な状況をもたらす場合があります。
- 献血後に高所作業や激しいスポーツ、自動車の運転等をされる方は献血前にお知らせください。特に乗り物の運転をされる方は、献血後に十分な休憩（30分以上）を取っていただく必要があります。
- 副作用予防のため、献血前に水分（スポーツドリンク等）を補給してください。

献血時は

- 200mL・400mL献血では10分から15分位、成分献血では体重等に応じて採血する量（上限600mLまで）が異なりますので、40分から90分位の採血時間がかかります。
- 血圧や血色素量（ヘモグロビン濃度）を事前に測定します。
- 採血針や採血バッグ等は、お一人ずつ使い捨てとなっています。
- 採血装置の不具合等により、採血が中断されたり、いただいた血液が輸血に使用できなくなることがあります。

献血に伴う副作用と注意

- 針を刺した時に、強い痛みがある場合や痛みがいつまでも続く場合は、すぐに職員にお知らせください。
- 採血中に気分不良やめまいを起こした場合は、すぐに職員にお知らせください。また、採血後に同様の症状を起こした場合は転倒を防止するために、すぐにしゃがむか横になってください。
- 皮下出血がある場合は、我慢せずにお知らせください。
- 採血針を刺した箇所に針跡が残ることがあります。

献血していただいた血液は

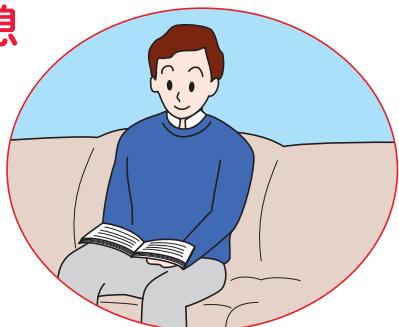
- 検査を実施し、血液製剤の基準に適さないと判断した場合は輸血に使用しません。
- 血液の一部は少なくとも11年間冷凍保存し、輸血副作用・感染症などの調査のために使用します。

献血後の過ごし方

献血後は、水分を補給して休憩（少なくとも10分以上）をおとりください。
電車でお帰りの際、転落防止のため駅のホームでは線路の近くで電車を待たないでください。
(気分不良、失神などはじっと立っている時に発生しやすいといわれています)

＜献血当日は次のようなことをお願いいたします＞

休憩



水分補給



特に乗り物を運転される場合は、その前に十分な休憩（30分以上）をおとりください

ジュース（スポーツドリンク）、お茶などで十分補給してください

- ・トイレ…採血直後の排尿は座位で行なってください
- ・エレベーター・階段…使用する際は、特に注意してください
- ・入浴…2時間以内の入浴と当日のサウナは避けてください
- ・飲酒・喫煙…献血直後は避けてください
- ・スポーツ…水泳、マラソンなど激しいスポーツは避けてください
- ・重労働…採血側の腕に強い力がかかるないようにお願いします



気分が悪くなったら

緊張感の強い場合やその日の体調によっては、採血の数時間後、まれに気分が悪くなったりめまいがすることがあります。そのような場合はすぐにしゃがむか、横になってください。
通常は頭を低くして30分程度安静にするだけで軽快します。
また、採血後の腕の痛みなど何かご心配なときは、すぐに血液センターまでご連絡ください。

○○○赤十字血液センター (XXX-XXX-XXXX)

移動採血車の運行予定や献血ルームのご案内などはホームページでもご覧いただけます。

(<http://www.○○○○.○○○>)

献血ルームのご案内

- ・○○赤十字献血センター XXX-XXX-XXXX
- ・○○献血ルーム XXX-XXX-XXXX
- ・○○献血ルーム XXX-XXX-XXXX
- ・○○赤十字献血センター XXX-XXX-XXXX
- ・○○献血ルーム XXX-XXX-XXXX
- ・○○献血ルーム XXX-XXX-XXXX